

## 一酸化炭素中毒事故防止のお願い

秋から冬へのガス需要期を迎え 毎年〈不完全燃焼〉による《一酸化炭素中毒事故》が発生し、不幸にして尊い生命が奪われるという悲惨な事件が後を絶ちません。

原因は、不完全燃焼防止装置が装着されていないガス器具を使用した場合で、

- ① 台所専用小型湯沸器(開放式)の長時間使用
- ② 浴室内設置の風呂釜(煙突式)・室内設置の大型湯沸器(煙突式)を使用中、同時に台所の換気扇(レンジフード含む)を使用したため排気の逆流が起きたものと考察されます。

※いずれも燃焼のために、室内の酸素(空気)を必要とするガス器具です。

以上のような事故を起こさないためにも、ご家族にも理解していただき、痛ましい事故が起きませんようご注意ください。

過日、経済産業省より「不適切な使用の危険性を十分周知するとともに、安全装置を装着した新しいガス器具への取替による設備改善を要請する」旨の通達があり、特別周知等適切な、対策を講じ事故防止に努めるよう指示がありました。

つきましては、安全装置を装着したガス器具への取替をお奨めいたします。

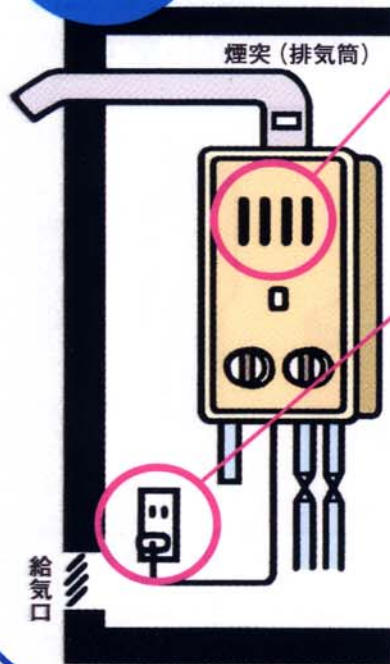
ご相談等、弊社にご一報いただければ、早速お伺いさせていただきます。

— 既に設備改善なされたお客様には、失礼の段ご容赦ください。 —

# 『屋内設置型』ガス器具を安全にご使用いただくために！

## Point 1

煙突があり、排気ファンが付いている「屋内設置型湯沸器・風呂がま」※をお使いの方は、次の2点を確認してから、ご使用ください。

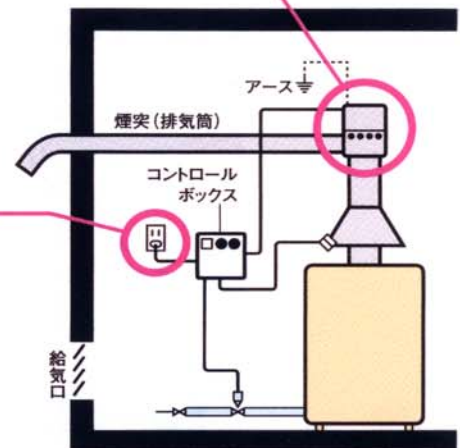


### 【確認①】

排気ファンの作動音が聞こえることをご確認ください。

### 【確認②】

電源が入っていることをご確認ください。



※煙突があり、排気ファンが付いている「屋内設置型湯沸器・風呂がま」とは：ガスを燃やすための空気を屋内からとり、燃焼排ガスを排気ファンを使用して、排気筒で屋外に排出する方式です。半密閉式ガス機器と呼ばれます。

## Point 2

換気や日頃の点検をお願いします。

### 【ガス機器の使用中は、十分な換気を！】

ガスが燃えるには、新鮮な空気が必要です。換気が不十分だと、ガス機器が不完全燃焼を起こし大変危険です。ガス機器の使用中は、十分に換気をしましょう。

### 【煙突などの給排気設備は、日頃の点検を！】

煙突の付いた風呂がまや給湯器をご使用の場合は、煙突につまりがないか、はずれたり穴があいていないかなど、日頃から点検してください。

## Point 3

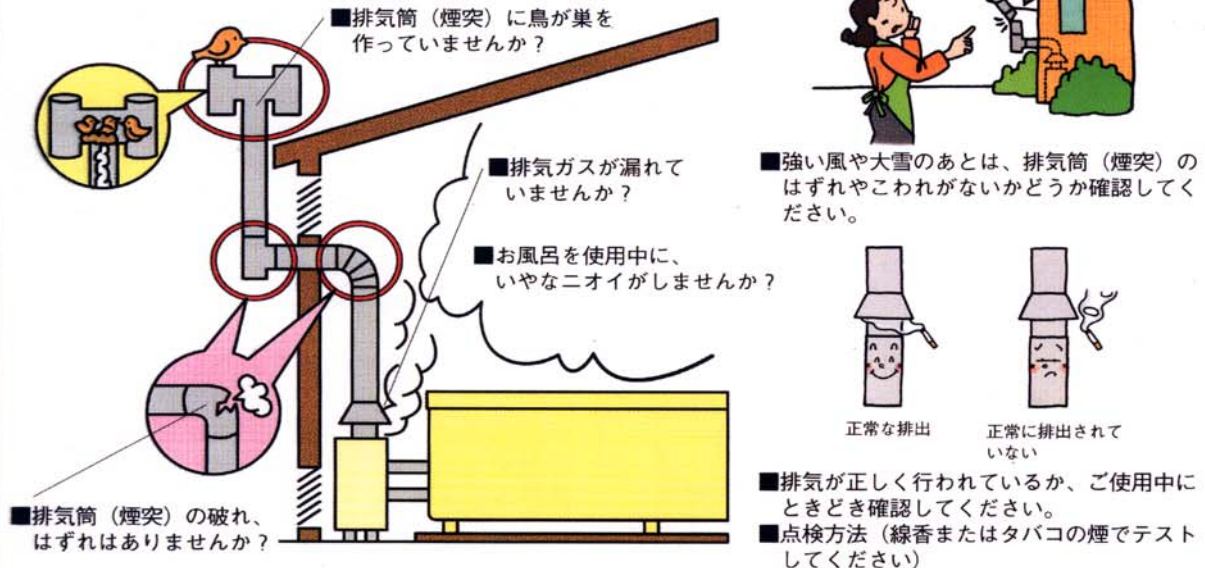
ガス機器の改善は、  
資格のある専門家に依頼しましょう。

屋内用のガス風呂がま、大型給湯器などの設置や排気筒などの改善は、国で定める資格者の監督がなければできません。改善の際は、施工業者に資格者がいることを確認してください。

# 『浴室内設置型』 風呂釜をご使用の方へ

お願い

煙突式（CF式）風呂がまをお使いの場合は、  
お客さま自身によるこまめな点検で安全確認をしてください。



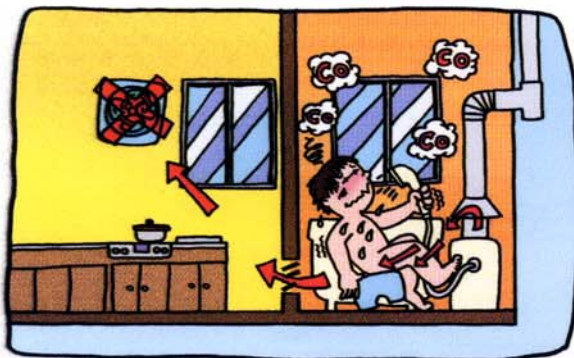
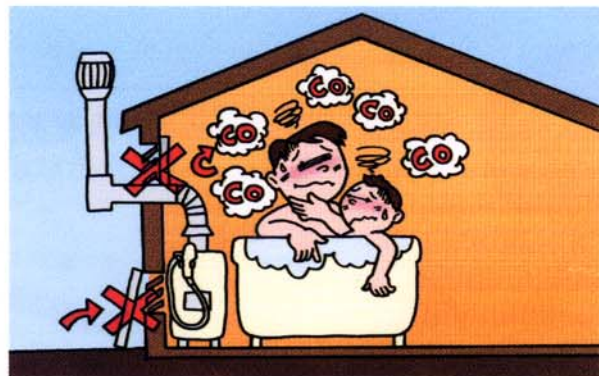
日頃から、このようなことにご注意ください。



ご注意

給気口、換気口がふさがって  
いませんか？

給気口や換気口がふさがっていると、  
浴室内の空気が不足して一酸化炭素中  
毒を起こしますので、絶対にふさがな  
いでください。給気口がないときは、  
浴室の窓やドアを開けてご使用くだ  
さい。



お風呂を沸かしているとき、  
隣の台所で換気扇を  
回していませんか？

お風呂を沸かしているときやシャワー  
を使っているときに、台所の換気扇を  
使用すると、風呂がまの排気が浴室内  
に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす場  
合があります。